



INTERVIEW



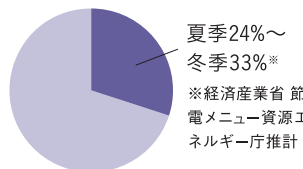
あかりみらい
代表取締役・
エネルギーコンサルタント
おち ふみお
越智 文雄さん

電気料金高騰の影響

令和5年6月から各電力会社が電気料金を改定し、14～42%※値上げされた。
※経済産業省 エネルギー庁調べ

LEDと蛍光管の比較

建物の電気消費量のうち
照明が約3割を占める！



蛍光管を1本替えると

- 年間の電気代 約2,300円節約
- 年間のCO₂排出量 約0.03t削減

※蛍光管はグロータイプ。電気料金は北海道電力 令和5年下期の業務用電力を想定、基本料金値上げ分は除く。(あかりみらい調べ)

節電と脱炭素化の両立は身近な照明のLED化から。

今年の夏も猛暑が続き、値上げされた電気料金の影響が大きかったのではないだろうか。施設の照明一括LED化を支援する「あかりみらい」の越智さんに、電気代を抑えるポイントや、それが脱炭素の取り組みにつながる可能性について聞いた。

LEDの価格高騰と供給不足や労働規制を考慮した早めの始動を。

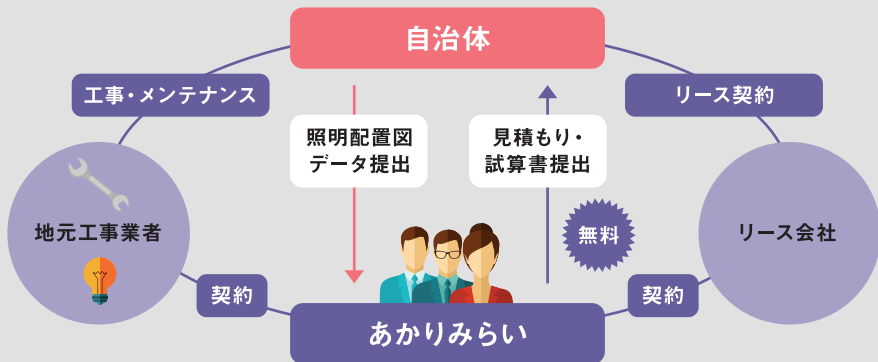
—電気代を抑えるためにできることは何ですか。

一般的には、施設にかかる電気使用量の約3割が照明だといわれています。空調の稼働率は季節で変動しても、照明は年間を通して大きく変わらないでしょう。LED照明なら、従来の電気使用量の約7割が抑えられます。毎日使う照明を少しでも早くLED化すると、電気代節約への貢献度は大きくなります。ですが、LEDも材料価格の高騰や納期の遅延が起きています。建設業界も働き方改革が進み、来年から時間外労働が規制されます。これらを踏まえてスピーディに取り組むことがカギでしょう。

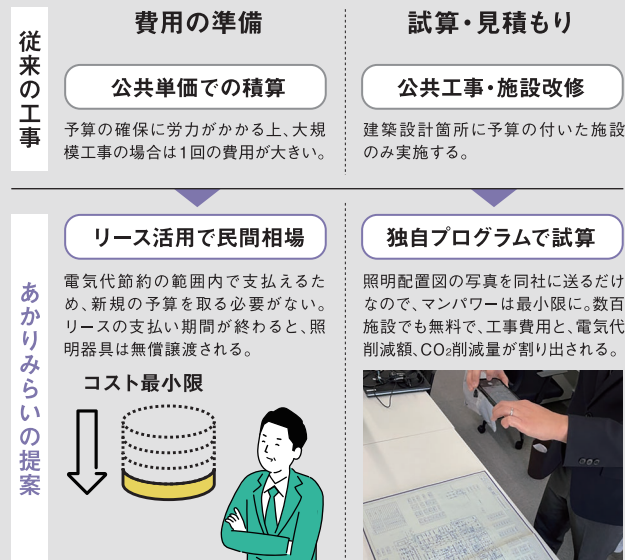
—照明交換で期待できる効果はどのくらいですか。

当社の試算では、対象施設が200以上ある自治体が照明をLED化した場合、年間の電気代は数億円の削減見込みです。施設数が40ほどの小規模自治体でも、年間で数千万円の節約に期待できます。CO₂の大きな削減にもつながるので、カーボンニュートラルの施策としても取り組んでほしい。消費電力を抑えることは、目の前の電気代に留まら

連携して進める全施設のLED化



- ワンストップサービス
- トータルエネルギーコンサルティング

民間の力で費用と手間を抑えて
一気に完全LED化を進める。

ず、長い目で見た環境施策にも活かせるのです。決定打がなく悩んでいるカーボンニュートラル担当者には朗報ではないでしょうか。

費用も手間も抑える一括導入はスピーディな意思決定がカギに。

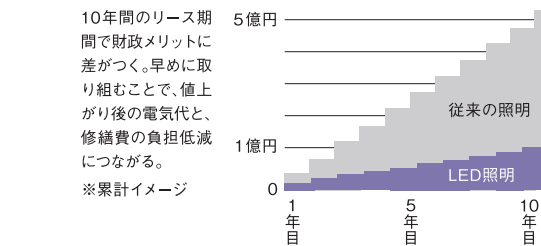
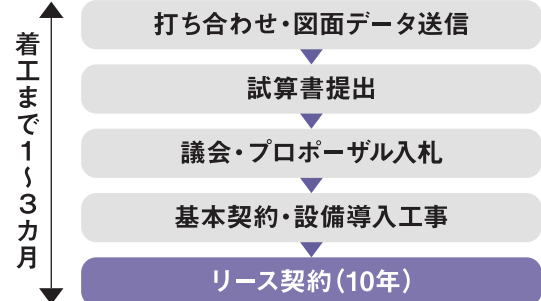
—施設数が多いと見積もりが大変でしょう。

当社独自の特許プログラムを使えば、数百単位の施設にかかる工事費の見積もりを1～2週間ほどで試算します。通常は自治体職員が現地調査をして1つずつ数えていたのが、照明配置図をスマホで撮影して当社へ送るだけで完了します。当社では、導入の手間と費用を抑えられる“リース方式”を提案しています。リースなら、照明設備費と取り付け手数料のシンプルな積算で算定するため、短期間で見積もりができるのです。

—照明器具にリースが適用されるんですね。

かつては消耗品として扱われていたLED照明も、長寿命の資産として認められ、リースの対象になりました。自治体の全施設の照明をLED化するには、大きな費用を予算化しなければなりません。それが、リースなら従来の建築改修の公共工事に比べて、民間の相場で3分の1から半額程度の費用で済みます。長期分割が可能で、電気代の削減分の範囲内で支払うことができるため、新たな予算は必要ありません。従来の器具交換は、アスベス

導入の流れとその後のメリット



空調でも節電を

同社が代理店となり、AIが温度調節できる空調制御装置も提供している。冬場も空調の使用が増えるため、照明と両方で節電が効果的。



セミナー詳細はこちら

エネルギーコンサルタントの視点でアドバイスする、オンラインセミナー。

- テーマ：電気料金高騰対策・カーボンニュートラル対策（質疑応答あり）
- 予約制／各回1時間半程度
- 参加無料

スケジュール確認や
受講のお申し込みは
こちらから▶



お問い合わせ

PR

☎ 0120-760-814
✉ akari@akarimirai.com
株式会社あかりみらい
東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館20F

お問い合わせ・
詳細はこちら▶

